

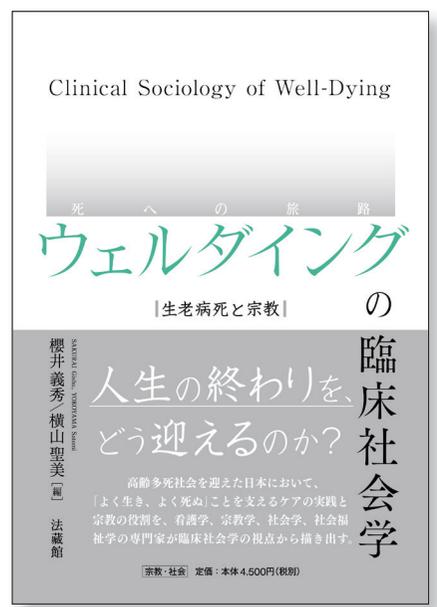
# （死への旅路） ウェルディングの臨床社会学

生老病死と宗教

さくらいぎしゅう よこやまさとみ  
櫻井義秀・横山聖美 [編]

A5判・上製カバー・三五二頁・本体四、五〇〇円＋税

2025年9月刊行



人生の終わりを、どう迎えるのか？  
高齢多死社会を迎えた日本において、「よく生き、よく死ぬ」ことを支えるケアの実践と宗教の役割を、看護学、宗教学、社会学、社会福祉学の専門家が臨床社会学の視点から描き出す。

## 【目次】

- はじめに [櫻井義秀]
- 第1章 サードエイジャーの死生観と仏教の役割 [櫻井義秀]
- 第2章 資格化する看取りとグリーフケア [横山聖美]
- 第3章 中国高齢僧侶の病いと困窮 [翁 康健]
- 第4章 互助で歩む老年期の信仰生活——キリスト者協働の家を事例に [川又俊則]
- 第5章 「家庭の医療」——高齢期を生きる人びとのヘルス・エスノグラフィ [道信良子・佐藤弘太郎]
- 第6章 特別養護老人ホームにおけるウェルディングの困難と可能性 [片桐資津子]
- 第7章 人生の最終段階におけるがん患者の包括的ウェルビーイング [菅原邦子]
- 第8章 地域で遺族を支えるグリーフケアの会 [横山聖美]
- 第9章 中国失独者の悲嘆を回復させるもの——グリーフとソーシャル・キャピタル [繆 言]
- 第10章 コロナ禍で考えた「いのち」 [櫻井義秀]
- 付録 「サードエイジャーのセカンドライフに関する生活意識調査」実施の概要 [清水香基]
- あとがき [櫻井義秀]
- 執筆者一覧／索引

### 【編者略歴】

櫻井義秀 1961年、山形県出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程中退。博士（文学）。現在、北海道大学大学院文学研究科教授。専門は宗教社会学、タイ地域研究、東アジア宗教文化論。

横山聖美 1972年生まれ、北海道出身。天使大学大学院看護学専攻修士課程修了。修士（看護学）。現在、天使大学看護栄養学部看護学科准教授。専門はがん看護、緩和ケア、グリーフケア。

注文書	
(書店名)	
ご担当	様 冊
法藏館 四、五〇〇円＋税	
櫻井義秀・横山聖美 [編]	
ウェルディングの臨床社会学	
生老病死と宗教	
ISBN978-4-8318-5734-7 C3014	
ご住所	お電話
お名前	お名前

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗教・社会